

みんなの笑顔があふれるまち

里庄町教育委員会教育長

杉 本 秀 樹



「教育長さん、おはようございます」
とても明るく元気のよい声が、登校班の列の中から聞こえました。すると、次々とあいさつの声が飛んできました。里庄東小学校の正門付近で、車の通行が多いので、徐行している時でした。私は車の窓を開け、右手を少し上げて、「おはようございます。ありがとうございます」と返しました。何とも心地よい瞬間でした。

私は、教職員の皆さんや保護者、地域の皆様にいつも一つのことをお願いしています。子どもたちを認めることを大事にしてください、ということなんです。では、何を認めていただきたいのかといえば、主に次の三つです。一つには子どもたちの頑張り、二つには伸びしろ、三つには素直さです。子どもたちがごく当たり前のようになっていることは、実は子どもたちが頑張っているのです。あいさつをすることも同じです。「環境は人を創り、人は環境を創る」

里庄町出身で、日本の現代物理学の父と言われている、仁科芳雄博士の言葉です。里庄町でも、人を創る環境を整える取り組みを、数多く行っています。その中の一つに、非認知能力の育成があります。「里庄三

シヨンプログラム」と名付けて取り組んでいます。三シヨンは、プレゼンテーション、ディスカッション、リフレクションの三つです。非認知能力とは、「忍耐力がある」「社会性がある」「意欲的である」など、人間の気質や性格的な特徴のようなものを指します。このような能力を育てるためにも、子どもたちを認めることを大事にしたいと考えています。子どもたちは、人と人とのかわりの中で、自分で体験し、成功や失敗をしながら、工夫することを学び、知恵を付けていきます。子どもたちの自主性・意欲・やる気を育てながら、落ち着いた心で、自分のよさを伸ばすことのできる子ども、やればできると実感できる子どもたちを、町民の皆様と共に育てていきたいと考えています。

里庄における令和二年度からの新たなまちづくりの将来像は「子どもの元気な声が響き、みんなの笑顔があふれるまち」です。ここを目指し、子どもたちも大人の皆さんも、だれもが希望を持ち、豊かな心を育むことができるように、みんなで頑張っています。